

一般社団法人 日本UAS産業振興協議会

資料1 - 2

(27.4.6)

JUIDA

Japan UAS Industrial Development Association

一般社団法人
日本UAS産業振興協議会
<http://uas-japan.org/>

新たな航空機産業の創出

2015年4月6日

JUIDA常務理事 岩田拓也

近年飛躍的な発展を遂げている無人航空機システム(UAS)の、民生分野における積極的な活用を推進するため、2014年7月に東京大学鈴木真二教授を理事長とする「一般社団法人 日本UAS産業振興協議会(JUIDA)」を設立。

近年飛躍的な発展を遂げている無人航空機システム(UAS)の、**民生分野における積極的な利活用**を推進するため、2014年7月31日に「**一般社団法人 日本UAS産業振興協議会 (JUIDA)**」を設立。

(役員) 理事長	鈴木 真二
副理事長	千田 泰弘
常務理事	岩田 拓也
理事・事務局長	熊田 知之
監事	山中 武彦

内外の関係省庁、UAS関連諸機関、団体、研究機関、教育機関等との情報交換、連携および協力

日本の無人航空機産業の発展を支援



1. 無人航空機を巡る現状

無人航空機の種類(利用実態に応じた分類)

大型航空機(数百kg ~ 数百トン規模)

- u 主な用途: 国際運航を含む長距離の旅客・貨物輸送
貨物機における有人機の省力化の動きあり



中型無人航空機(100kg程度)

- u 主な用途: 農薬散布、数十kg程度の物資輸送
農薬散布ヘリにおいては日本が先行して実用化



小型無人航空機(数十kg程度)

- u 主な用途: 特殊撮影(空撮)、数kg程度の物資輸送
技術の確立、コストダウンにより中国製なども含め急速に普及。
ホビー用途も含めて多種多様な機体が流通。



関連技術
の確立
適用用途
の拡大



**今後の産業
利用拡大を
期待**

無人機の活用事例 [小型機] (インフラ点検)



浜名大橋



焼却炉点検

側壁点検



ミニサーベイヤー MS-06LX

作業人員	計3人	作業スペース
飛行体操縦者	1人	5m × 5m程度必要
カメラ操縦者	1人	
補助員	1人	

注:ミニサーベイヤー は千葉大・野波研のマルチロータヘリの名称で、現在10機種ほどある

MS-06LXの仕様概要

- ・ 飛行時間約30分
(ペイロード2kg時)
- ・ 正味重量4kg
- ・ ペイロード最大9kg
- ・ リチウムポリマーバッテリー
10000mAh × 2個